

みんなと話す防災分科会
救護ワーキング・グループ(WG)
第1回検討会

2015年07月22日(火) 14:00~15:30
集会所洋室にて



まとめ役 細貝俊夫

防災分科会とは？

防災委員会では7月から4つの防災分科会(救護、情報、調達、建築)を立ち上げ、それぞれに独自のテーマを詳細に検討するプロセスに入りました。

過去の1.17や3.11、その他の災害の教訓から、災害に対処するには日頃からの実践的な準備や訓練が大切な点と、ご近所の住民同士の助けあいが不可欠であると多くの人に認識されるようになっていきます。それを受けて当団地でも災害時に本当に役に立つ防災を目指して進みだしています。本当に役に立つ防災は、各地域、団地で実際には異なります。それぞれ独自に考える必要があります。防災分科会では、過去の災害の体験を参照しながら、できるだけたくさんの住民の方の意見を集めて、災害時にどうすればよいのか、何を準備すればよいのか、などについて住民のみなさんの合意形成をはかっていきたいと考えています。そのため、この救護WGでは、かなり詳細にテーマを設定し勉強と議論をする予定です。

救護WGの役割

救護WGでは全体的に、以下のテーマについて検討する予定です。

- ・火災発生時の初動について具体策を検討する
- ・防火対策について検討する
- ・負傷者を救出する方策について検討する
- ・負傷者の応急手当の方法について検討する
- ・負傷者を病院に搬送する手段について検討する
- ・病院・救護所との通信チャンネル確立の方策について検討する

第1回検討会の検討内容

1. 過去の大震災の教訓から学ぶ

- (1) 阪神淡路大震災
- (2) 東日本大震災
- (3) 病院、医療機関の確認
- (4) 消防署における消防、救急体制の確認

2. 救護WGの進め方の検討

- (1) 次回以降の日程と内容の検討

1. 過去の大震災の教訓から学ぶ

(1) 阪神・淡路大震災の経験(1995年1月17日火曜日5時46分)

「ドキュメント神戸72時間の記録」(ビデオ約30分)

気がついたこと

(2) 東日本大震災の経験(2011年3月11日金曜日14時46分)

「石巻赤十字病院 東日本大震災初動の記録」(ビデオ約10分)

- ・トリアージ(パワポ)
- ・「石巻災害医療の全記録」より(パワポ)
- ・災害医療コーディネーター
- ・災害派遣医療チーム(DMAT)(別紙)

(3) 病院、医療機関の確認

- ・団地周辺の病院(別紙)
- ・災害時の医療救護活動についての協定書 多摩市と多摩市医師会(別紙)

(4) 消防署における消防、救急体制の確認

多摩消防署本署(14万人)

多摩指揮隊

多摩救急小隊 救急車1台

多摩化学小隊 化学消防車1台

多摩1小隊 ポンプ車1台、10トン水槽車1台

多摩特別救助小隊 特別車両1台

多摩梯子小隊 ハシゴ車1台

多摩センター出張所

多摩センター救急隊 救急車1台

多摩センター1小隊 ポンプ車1台

多摩センター2小隊 5トン水槽車1台

多摩消防署の災害時被害想定

多摩直下地震が起きた場合 冬 18時、風速8m

死者 50名 負傷者 1300名 (内重傷者 150名)

建物の倒壊 930棟 火災で全焼 430棟

ライフライン

停電 14% 断水 30% ガス 100%

避難者数 33,000人

稲城消防署(8万人)

稲城市は独自に稲城市消防本部を置いている。

稲城指揮

救急稲城1 救急車1台

救急稲城2 救急車1台

救急稲城3 救急車1台(予備)

稲城1 ポンプ車1台

稲城2 ポンプ車1台

稲城化学 化学消防ポンプ車1台

稲城救助 救助工作車

稲城梯子 ハシゴ車

稲城5 クレーンつきダンプ

給水車 給水車

稲城人員輸送 人員輸送車

緊急バイク 消防緊急バイク

防災トラック 防災用貨物トラック、可動式小型動力ポンプ、フォークリフト

町田市消防署(43万人)

八王子市消防署(58万人)